

平成 29 年度事業計画

基本方針

平成 29 年度は、従来どおり棟方志功顕彰事業である棟方志功記念館の管理運営、充実した作品群による展示活動を行うとともに、作品の保存、普及活動に積極的に取り組むものである。

また、青森県立美術館との連携による従来からの支援事業等を継続的に実施することにより、本県の芸術文化の向上に貢献するものである。

I 棟方志功顕彰事業

1 記念館運営事業

(1) 作品展示

平成 29 年度の作品展示は例年どおり四期に分けて行い、その主な展示作品は次のとおりである。

① 春の展示「棟方志功の風景」

会期：平成 29 年 3 月 14 日（火）～6 月 18 日（日）

棟方が海道シリーズでとらえた風景は、単にその景色を写すだけではなく、人々の暮らしに係わる風景を描いたものとなっている。春の展示では「追開棟方板画 東海道妙黛屏風」を主に、棟方の目がとらえた風景を板画、倭画、油絵などで描いた作品を紹介するほか、晩年に多く制作した棟方の心象風景ともいべき作品を展示する。

【主な展示作品】

板画：追開棟方板画東海道妙黛屏風、鷺嶽の柵など

倭画：大樹図、龍飛岬図 A B など

油絵：腰越富嶽図、信州シリーズなど

② 夏の展示「倭画－色彩と描写」

会期：平成 29 年 6 月 20 日（火）～9 月 24 日（日）

棟方は倭画について「絵は直接筆のついたところが効果ともなり結果ともなる」また、「(ネブタは) 強烈きわまる染料で黄、赤、青、紫の、様々な極端な原色を駆使して作るのです。このネブタの色、これこそ絶対混じりけのない私の色彩でもあります」と語り、白と黒のバランスから生まれる美を目指した板画に対し、倭画では鮮やかな色彩を駆使した華やかな作品を多く制作した。

夏の展示では自在な描写と華やかな色彩の倭画を主に展示する。

【主な展示作品】

倭画：御鷹々々図、禰舞多運行連々絵巻、神説御蓬萊之図、志功三楽屏風など

③ 秋の展示「油絵－志功の原点」

会期：平成 29 年 9 月 26 日（火）～12 月 17 日（日）

棟方は絵画に興味を持ち、画家になりたいという思いを抱き始めていた頃にゴッホの油絵と出会い、油絵画家をめざした。昭和 3 年の帝展入選を機に板画を始めるようになったが、油絵を描くことはやめなかった。戦時中、絵の具の入手が困難だったころも、わずかに残ったチューブから絞り出しては好きな油絵を描い

ていたという。

秋の展示では、棟方志功 50 年の画業の中での初期から晩年までの油絵作品を展示する。

【主な展示作品】

油絵：御鮭図黄・青、高帽貌図、太陽花シリーズ、信州シリーズ、富士山シリーズなど

④ 冬の展示「文字との交流」

会期：平成 29 年 12 月 19 日（火）～平成 30 年 3 月 18 日（日）

棟方作品には絵画と文字が一体となった作品や文字そのものを絵画作品としたものなど、文字とかかわる作品が数多くある。画家を目指して上京後まもなく、川上澄生の版画「初夏の風」を見て絵画と詩句を一体化させることに魅せられ、自身も版画を始めるようになった棟方にとって、文字あるいは言葉というものは創作活動には欠かせない、それ以上にお互いを高めあうものだった。

冬の展示では書作品のほか、文字と一体になった板画、倭画などの作品を主に展示する。

【主な展示作品】

板画：大和し美し、般若心経板画柵、雨ニモ負ケズ板画柵など

倭画：華園妃々之図、双妃の図など

書：龍虎観自在、華巖龍鵬、南無華巖など

*平成 30 年 3 月 20 日からは「平成 30 年・春の展示」を開催する。

(2) 開館及び休館

平成 29 年度の開館日数は 333 日とし、9 月 13 日（棟方志功画伯命日）と 11 月 3 日（文化の日）は無料開館日とする。

例年、休館日は祝日及びねぶた期間中に当たる場合を除く毎週月曜日及び年末としているが、7 月・8 月並びに J R 東日本・大人の休日倶楽部パス実施期間は、県内外から多数の来館者が予想されるため、休館日にも開館してきており、29 年度も同様に開館する。

なお、年始は 1 月 1 日から開館し、年間の開館、休館日は別紙一覧表のとおりとする。

次に、平成 29 年度も来館者の利便を図るため、4 月から 10 月の開館時間を午前 9 時とする。

平成29年度開館日一覧表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
			休																												
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
							休								休							休							休		
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
				休							休							休													
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
												無料												休							
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
		休														休							休							休	
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
			無料		休							休							休								休				
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			休							休							休							休				休	休	休	
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
															休																
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
				休															休								休				
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				休							休								休							休					

◆展示カレンダー

・ 春の展示 棟方志功の風景	3月14日(火)～ 6月18日(日)
・ 夏の展示 倭画-色彩と描写	6月20日(火)～ 9月24日(日)
・ 秋の展示 油絵-志功の原点	9月26日(火)～ 12月17日(日)
・ 冬の展示 文字との交流	12月19日(火)～平成30年3月18日(日)

◆無料開館日

9月13日(棟方志功画伯命日) 11月 3日(文化の日)

◆その他

大人の休日倶楽部パス 4月10日～4月19日、6月22日～7月4日、8月31日～9月12日、2018年1月18日～1月30日

2 作品保存普及事業

(1) 作品貸出

平成 29 年度は次のとおり作品貸出を行い、広く棟方芸術の普及を図るものである。

- ① 藤崎町教育委員会主催「常盤ふるさと資料館あすか 20 周年記念『棟方志功』展（仮）」

会期及び会場：平成 29 年 7 月予定 常盤ふるさと資料館あすか

貸出作品：調整中

- ② S T V 札幌テレビ放送、北海道立近代美術館（予定）主催「『ワだば、ゴッホになる。』棟方志功展（仮）」

会期及び会場：平成 30 年 2 月 3 日～3 月 25 日 北海道立近代美術館

貸出作品：板画－二菩薩釈迦十大弟子、大和し美し、東北経鬼門譜など

倭画－大樹図、大聖妙愛染明王尊像図、両妃図など

油絵－太陽花シリーズ、信州シリーズなど

書－南無華嚴、遊など

- ③ 一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社・青森市教育委員会主催「棟方志功賞版画展」への作品貸出

会期及び会場：2 月上旬 青森市民美術展示館

青森市文化スポーツ振興公社及び青森市教育委員会が主催する「棟方志功賞版画展」は小・中学生、高校生を対象とした版画作品の公募展であるが、当記念館では主催者からの依頼によって参考出品として棟方志功の板画作品を例年出品しており、29 年度で 30 回となる。

作品貸出料については、棟方志功画伯の偉業をたたえ、青森市の版画芸術の振興と青少年の創造性の向上を図るための事業であることから、免除している。

- ④ 青森県立美術館内「棟方志功展示室」での作品展示

当記念館では、青森県立美術館運営支援事業委託契約に基き、美術館内の「棟方志功展示室」展示業務を行っている。作品展示は概ね年間 4 回展示替えしており、展示テーマによっては、美術館の所蔵作品だけではなく当記念館の所蔵作品も展示するが、それらの展示作品は無償で提供、展示している。

(2) 作品受贈

全国に散在する棟方作品のコレクターに対し、引き続きホームページ等により当記念館への寄贈について広く P R するとともに、必要に応じて訪問調査、作品鑑定のう え棟方作品の収集に務めるものである。

(3) 作品修復

収蔵作品の劣化状況を調査のう え、順次計画的な修復作業を専門家に依頼し、作品の保存に務めるものである。

(4) 賛助会員募集

当法人の設立目的に賛同し、協力してくれる個人または団体を広く募り、その会費を当法人の運営事業活動に充てるものである。

II 青森県立美術館連携事業

青森県立美術館の開館にあたり、平成 18 年度から「事業連携等に関する協定」を締結のうえ、所蔵作品の相互貸与及び棟方志功に係る展覧会の実施による棟方志功画伯の顕彰を強化するとともに、長年の美術館（記念館）運営のノウハウを活かした県立美術館の円滑な運営に寄与するために行う県立美術館業務を受託してきた。

平成 29 年度も引き続き同館との連携事業を推進することにより、青森県の芸術振興に寄与するものである。

1 運営支援事業

- (1) 棟方志功画伯に係る研究及び作品展示に係る学芸業務
- (2) 観覧料の徴収
- (3) 受付・案内及び展示に係る監視等の管理指導
キッズルームの管理に関する業務
- (4) 情報発信
- (5) その他事業連携等に関する協定に基づく運営業務

2 受付監視等事業

- (1) エントランス総合案内、発券機による観覧券の販売、展示等の案内、電話での団体受付及び問い合わせ対応
- (2) 作品及び観覧者の監視、展示室内の秩序の保持
- (3) 図書室内でのレファレンス等対応
- (4) キッズルームでの監視、秩序の保持
- (5) 来館者への便宜の供与及び安全確保

III 物品販売等事業

棟方作品をより身近に感じていただくため、また当記念館での観覧記念として、棟方作品の複製品を販売している。この複製品は当記念館が企画、制作しているオリジナル複製品と他社が企画、制作し当記念館での販売を委託されている受託複製品に大別されている。当記念館では来館者のみならず、他館展覧会へ作品を貸し出す際は、会場での棟方グッズ販売を積極的に働きかけている。なお、平成 29 年度は扇子 2 種類、有田焼陶板画 1 種類（いずれも仕入先：安川オビアス(株)）を新たに販売することにより増収を図るものである。



扇子 吉祥天妃の柵 3,500 円（税別）
扇子袋、扇子立て付き 紙箱詰め



扇子 両妃飛天図 1,500 円（税別）



有田焼陶板画 金富士の柵 30,000 円（税別）
サイズ：H395×W395mm

収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,501,000	3,257,000	△ 1,756,000	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	基本金利息
基本財産収入貸貸料	1,500,000	3,256,000	△ 1,756,000	作品貸出料
特定資産運用益	8,000	19,000	△ 11,000	
特定資産収入利息	8,000	19,000	△ 11,000	作品購入基金利息
受取会費	1,531,000	1,495,000	36,000	
賛助会員受取会費	1,531,000	1,495,000	36,000	28年度実績見込み同様
事業収益	88,486,000	92,034,000	△ 3,548,000	
記念館運営事業収益	10,215,000	9,715,000	500,000	観覧料過去5ヵ年実績平均の80%を見込む
運営支援事業収益	16,900,000	16,900,000	0	青森県立美術館運営支援業務受託
受付監視等事業収益	52,395,000	56,024,000	△ 3,629,000	青森県立美術館受付監視等業務受託
物品売払収益	7,832,000	8,226,000	△ 394,000	リジナル複製品 28年度実績見込み同様
受託品販売受取手数料	1,144,000	1,169,000	△ 25,000	他社受託複製品 28年度実績見込み同様
受取補助金等	7,500,000	7,500,000	0	
青森県補助金収益	7,500,000	7,500,000	0	棟方志功記念館運営費補助金
雑収益	8,000	8,000	0	
雑収益	8,000	8,000	0	自動販売機手数料
経常収益計	99,034,000	104,313,000	△ 5,279,000	
(2) 経常費用				
事業費	115,167,000	103,866,000	11,301,000	
役員報酬	2,535,000	2,535,000	0	専務理事報酬
給料手当	11,212,000	10,949,000	263,000	職員2名
臨時雇賃金	55,798,000	54,566,000	1,232,000	嘱託職員5名、記念館及び県立美術館パート職員
退職給付費用	862,000	837,000	25,000	職員2名
福利厚生費	6,746,000	6,182,000	564,000	社会保険料等
旅費交通費	100,000	100,000	0	作品受贈等
通信運搬費	1,487,000	1,487,000	0	作品運送展示替え等
減価償却費	3,802,000	3,802,000	0	記念館建物等
消耗品費	2,086,000	2,576,000	△ 490,000	事務用品等
修繕費	300,000	300,000	0	記念館施設修繕
印刷製本費	1,191,000	670,000	521,000	PRポスター等
燃料費	2,334,000	2,114,000	220,000	冷暖房燃料等
光熱水費	3,308,000	2,813,000	495,000	電気料等
賃借料	930,000	930,000	0	事務機器リース等
保険料	566,000	490,000	76,000	作品運送展示一貫保険等
諸謝金	20,000	40,000	△ 20,000	生け花奉仕団体謝礼金
報償費	80,000	80,000	0	来賓及び作品寄贈者への贈呈品
物品仕入	4,529,000	2,324,000	2,205,000	販売用複製品に係る製作及び仕入代金
租税公課	9,791,000	4,288,000	5,503,000	消費税額等
広告料	42,000	42,000	0	求人広告
委託費	7,207,000	6,500,000	707,000	清掃及び警備等
雑費	241,000	241,000	0	口座振込手数料等
管理費	6,083,000	6,177,000	△ 94,000	
役員報酬	883,000	883,000	0	評議員、理事及び監事
給料手当	139,000	133,000	6,000	専務理事、職員2名管理業務按分額
福利厚生費	19,000	16,000	3,000	職員2名管理業務按分額
会議費	74,000	84,000	△ 10,000	評議員会及び理事会
旅費交通費	347,000	347,000	0	鎌倉土地売買に係る旅費等
減価償却費	1,353,000	1,353,000	0	旧板画館建物等
通信運搬費	205,000	205,000	0	賛助会関係等
交際費	100,000	100,000	0	慶弔費等
消耗品費	217,000	200,000	17,000	事務用品等
印刷製本費	260,000	284,000	△ 24,000	賛助会関係等
光熱水費	288,000	188,000	100,000	旧板画館電気料等
報償費	150,000	220,000	△ 70,000	お歳暮等
租税公課	1,780,000	1,496,000	284,000	旧板画館固定資産税等
支払負担金	61,000	61,000	0	全国美術館会議等年会費
委託費	137,000	537,000	△ 400,000	賛助会関係等
雑費	70,000	70,000	0	口座振込手数料等
経常費用計	121,250,000	110,043,000	11,207,000	
当期経常増減額	△ 22,216,000	△ 5,730,000	△ 16,486,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 22,216,000	△ 5,730,000	△ 16,486,000	
一般正味財産期首残高	1,779,808,162	1,785,538,162	△ 5,730,000	
一般正味財産期末残高	1,757,592,162	1,779,808,162	△ 22,216,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,757,592,162	1,779,808,162	△ 22,216,000	